

# 社会学

(第12回)

## 国家とグローバリゼーション ～ナショナリズムを飼い慣らす～

伊藤 嘉高

山形大学医学部・医療政策学講座

[h-itoh@med.id.yamagata-u.ac.jp](mailto:h-itoh@med.id.yamagata-u.ac.jp)

講義資料：<http://www.h-ito.sakura.ne.jp/lect.html>

## 今回のテーマ



- 人間は、組織(集団)に属することで、人格が形成される。
- なかでも、おそらく最も大きな組織が国家である。
- 確かに、「日本人」「韓国人」「中国人」「アメリカ人」..... によって、人びとの相互行為の性格は異なっている。
- そして、そうした国や民族の違いが、争いを生んできた。
- しかし、民族の違いは、どこまでが本質的(自然)なものなのだろうか。国を無くして世の中は成り立つのだろうか。

**民族や国家の社会学を学ぶことで、  
理想論ではなく現実的な国家観を身につける。**

# 国が戦争に巻き込まれたら進んで戦うか？

(%)  
80

0

20

40

60

日本



11%



韓国



42%

アメリカ



44%

ロシア



59%

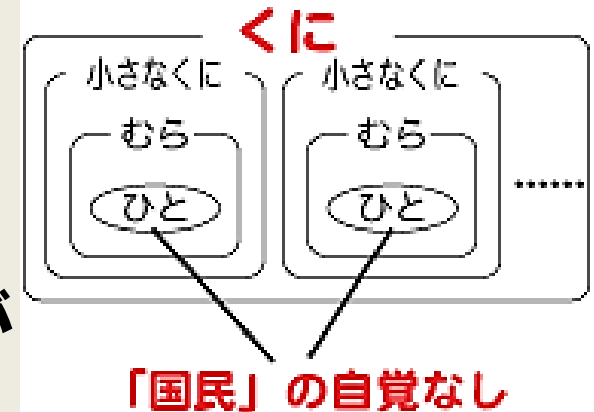
中国



71%

# ナショナリズムとは

- ナショナリズム:「第一義的には、**〔政治〕**的な単位と**〔民族〕**的な単位が一致しなければならないと主張する一つの政治的原理(E・ゲルナー)



- 〔民族〕**こそが固有の政府をもつ集団の単位であるべき
- 民族が自らの国家をもつことが唯一の正統な統治形態である。



近代になって、ネーション(民族、国民)=ステート(国家)  
→**〔国民国家〕**が誕生

# ネーション(民族)とは？

- どうして、わたしたちは、日本人(ネーション)としての一体感を感じることができるのだろうか。
- ネーションは、直接的な人の関係を超えて成立している「**想像の共同体**」である。
- しかし、直接的な人のつながりを超える共同体(宗教団体、政党など)はすべて想像されたものである。
- 「想像されたもの(つくられたもの)にすぎない」という理由で、ナショナリズムを批判するのは間違い。



ネーション特有の性格はどこにあるのだろうか？

## ナショナリズムの起源(はじまり)

- 近代以前の農村共同体は、内向きの生活を送るものであり、地域性に縛られていた。

→文化的同質性を外に広げることは、(ほとんど)誰も関心を持たなかった。

- [産業化]により、人びとは農村を離れ、都市に向かう(流動性の高まり)。

→異なる地域の人同士でも意思疎通できる共通の言語、どんな職場でも働けるための読み書き・計算能力が必要

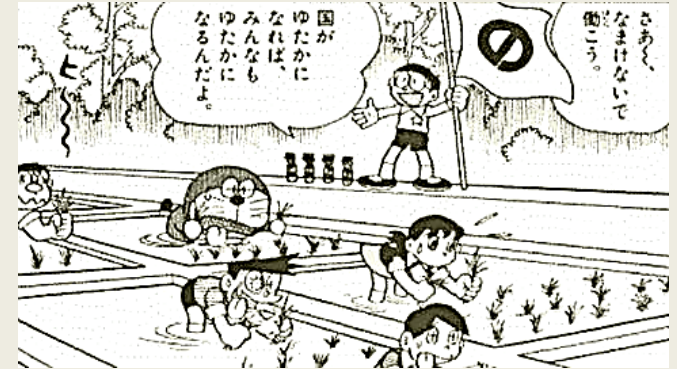
国家による統一的な教育制度の整備。  
(どこでも同じように管理できる労働者を養成)

全国共通の教育を義務化することの根拠として、  
民族の共通性も教え込まれる。





# ネーションの根拠



○ 共通の言語(=国民の共通性)は上から押しつけられたものなのか？

✓ 実際には、歴史的な政治的・経済的影響により、**ある程度の共通性**があったから、統一が可能であった。

ネーションには、歴史的根拠(**[エトニー]**)もある。

○ ただし、アイヌ語や琉球語などの周辺の言語・文化は、**[同化政策]**によって消えていったのも事実。

✓ 同化の対象とされた人や文化は、後進的な(遅れた)ものとみなされる←**[差別]**意識の高まり

○ ネーションにとって**都合の良い**エトニーだけが採用されたという面もある(例:武士道)。

# 国家なき社会は可能か？

川満信一「琉球共和社会憲法C私(試)案」(1981)

- **第一条** われわれ琉球共和社会人民は、歴史的反省と悲願のうえにたって、人類発生史以来の権力集中機能による一切の悪業の根拠を止揚し、ここに国家を廃絶することを高らかに宣言する。
- **第二条** この憲法は法律を一切廃絶するための唯一の法である。したがって軍隊、警察、固定的な国家的管理機関、官僚体制、司法機関など権力を集中する組織体制は撤廃し、これをつくらない。共和社会人民は個々の心のうちの権力の芽を潰し、用心深くむしりとらねばならない。

賛同しない(しなくなった)沖縄県民をどうするのか？



# 国家による暴力は必要悪

## ■ 処罰(国家による暴力):

✓ 近代以前: 君主による報復  
(君主 対 民衆)。

✓ 近代以降の規律権力社会:  
社会秩序(民衆の福利)を  
守るための**脱人格的**装置。→〔**国民主権**〕



○「国民国家を解体しよう!」としても.....

➤ 人格的な支配のもとで、命令にしたがわなければ、  
暴力による報復がなされる統治権力に戻ってしまう。

国家による国民化の歴史的プロセスを踏まえて、  
それを改良する方向を目指すほかない。

# グローバル化によって ナショナリズムは消失するか

## ○産業化がナショナリズムをもたらした

- ✓今日の産業のグローバル化：  
国際分業、国外移転、  
外国人労働者の流入



## ▶ ナショナリズムは消失する？

- 「若者の[右傾化]」現象、極右政党台頭  
→ 実際は、ナショナリズムは逆に激化



- 経済のグローバル化は進んでも、個々の主権国家を超えて、言語の共有化や文化の同質化などを世界レベルで実行できる政治的権力は存在していない。  
→ ネーションは解体されない

# ナショナリズムを飼い慣らすために

## ○ナショナリズムの2要素

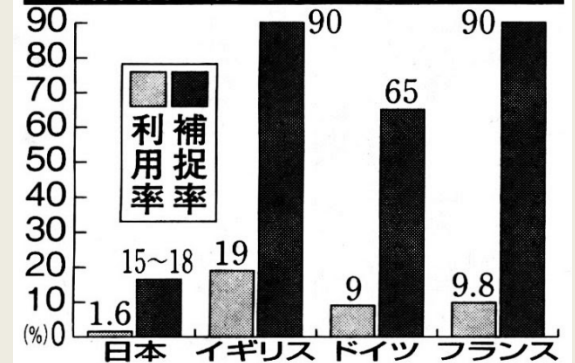
- **〔生活保障〕**としてのナショナリズム  
(例:国民皆保険制度)

- **〔アイデンティティ〕**としてのナショナリズム  
(例:日本人であることの誇り)

➤ アイデンティティの側面がない、  
生活保障だけのナショナリズムはあり得ない  
(保障の対象となる「日本人」とは誰か?)

✓ 国内経済保護政策をナショナリズムだと批判することで、  
結果的にナショナリズムが**〔ファシズム〕**へと激化。

生活保護の利用率と補捉率の比較



(2010年)

アイデンティティの  
**〔複数性〕**が重要

**〔心情倫理〕**による批判は問題を解決しない。

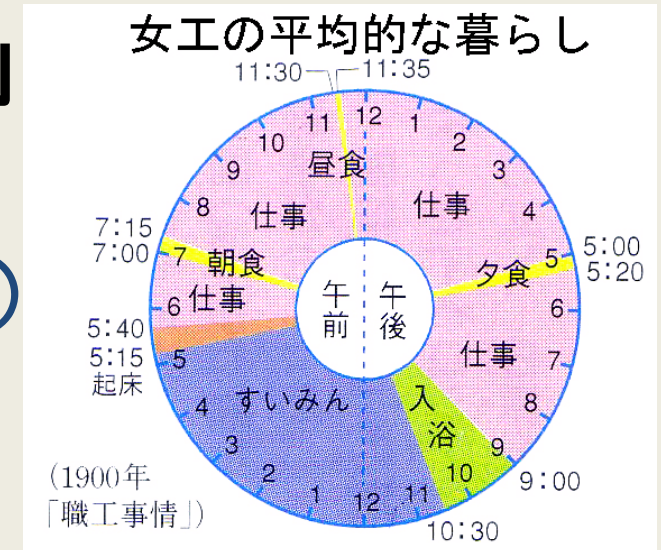
# 国民皆保険成立史①戦前

## ○1911年〔工場法〕(←労働運動、社会主義運動)

- ✓ 12歳未満の就労禁止、12時間労働制  
(ただし15人以上の工場のみ)

## ○1922年 健康保険法制定(27年施行)

- ✓ 強制:工場・鉱山、  
任意:土木建築、陸上輸送等



## ○1937年～〔日中戦争〕(皇国民族の増強)

## ○1938年〔国民健康保険〕法(農民)、厚生省創設

## ○1939年 職員健康保険法(事務職員)

1943年には、被保険者数が5,000万人近くまで拡大

# 国民皆保険成立史②戦後

## ○1947年 日本国憲法施行

- ✓1953年の時点で、未保険者は約3,000万人(3割)

## ○1956年 石橋湛山内閣誕生(生産主義的福祉論)

- ✓「まず大いに生産を伸ばして、それによって福祉国家の建設を図りたい」



## ○1957年 岸信介内閣誕生(〔福祉国家ナショナリズム〕)

- ✓社会党への対抗から、国民皆保険、国民皆年金を提唱

## ○1958年 国民健康保険法(新法)制定

- ✓被用者保険適用外者に参加義務付け

## ○1961年 〔国民皆保険〕成立

- ✓全国民がいずれかの公的保険に強制加入





## まとめと価値判断

- ナショナリズムは、近代産業化のために求められた均質的な国民統合のための仕組みである。
- ただし、ナショナリズムは時の支配者が一方的に押しつけたものではなく、歴史的な基盤はあった。
- 他方で、その歴史的基盤は産業化に都合の良いものだけが同化政策などによって取捨選択されたのも事実。
- グローバルな社会を成り立たせる歴史的な基盤がない以上、ナショナリズムがなくなることはない。
- 逆に、ナショナリズムをなくそうとする言論や動きが、若者の排他的なナショナリズムを強めている。
- 生活保障としてのナショナリズムを否定せず、そして、ネーションを本質的なものと見なさない「アイデンティティの複数性」を養っていくことが必要。



## 【復習してみよう】

1. ナショナリズムとエトニーについて説明しなさい。
2. 国家による暴力(暴力装置としての国家)について説明しなさい。
3. グローバル化が進むなかでのナショナリズムのあり方について論じなさい。